

社会科学研究部

1 研究主題 人の営みに学び、未来を創る子どもが育つ社会科教育
～学んだことを社会や生活に生かす学習過程のあり方～

2 研究主題について 主題に迫る視点を2つに整理し、検討を進めた。
(1) 子どもの予想と見通しから創り上げる学習計画をもとにした単元づくり
(2) 本気の学習問題を追究し、社会的事象の意味に迫る授業づくり

3 研究方法

「学びを止めない」ためにも、オンラインのよさを取り入れつつ、コロナ禍における研究を推進していく。

- ・研修会および授業研究会は、感染症対策を講じた上で、できるだけ集合形式にて実施する。
- ・指導案検討や情報交換などに関しては、オンライン会議やメールによる資料共有を進め、運営に関する業務量削減や効率化をめざす。

4 年間活動(事業)報告

(1) 講演会(令和4年3月9日) 横浜情報文化センター

講師 横浜市立瀬ヶ崎小学校 校長 梅田 比奈子 先生

演題 「社会科とともに ～これから輝くみなさんに伝えたい事～」

(2) 学年別研修会

- | | | |
|------|----------------|--|
| 【3年】 | 渡邊亮太 先生(別所小) | だいすき別所のまち もっと知りたい横浜市 |
| | 中村勇翔 先生(稲荷台小) | 潜入Y パン工場～みんなの手元にパンが届くまで～ |
| | 鳥山陽子 先生(東山田小) | 東山田のまちを火事から守る～東山田消防団Sさんに学ぶ～ |
| | 宮崎智明 先生(杉田小) | 横浜市の様子のうつりかわり～多くの市民が利用していた市電は、なぜなくなったのか～ |
| | 山口暁風 先生(小田小) | 地いきの安全を守る～火事からまちを守るために～ |
| 【4年】 | 本間宏志 先生(末吉小) | ごみはどこへ～まちをきれいにするためにわたしたちにもできること～ |
| | 杉内翔太 先生(大豆戸小) | 水害からまちを守るのはだれ～暴れ川だった鶴見川の変化を追いかけて～ |
| | 伊藤夏芽 先生(永野小) | 健康なくらしのまちづくり～安心・安全な水はどこから～ |
| | 中嶋祐太 先生(浅間台小) | 地域に愛される三浦市三崎のチャッキラコ～水干鳥帽子でいつか私も踊りたい～ |
| | 遠藤泰樹 先生(矢部小) | 県内の特色ある地域(環境)～湘南の海に開かれた観光都市・藤沢市～ |
| 【5年】 | 板山 涼 先生(中尾小) | サンゴ礁を守ることでつながるくらし～SDGs 未来都市 恩納村～ |
| | 小池 悠 先生(希望が丘小) | 日本の自然と共に生きる人々～2つのスイカから見る国土とくらし～ |
| | 高森太郎 先生(大鳥小) | 工業生産を支える人々～世界に誇るH社の自動車づくりから考える日本の工業生産～ |
| | 比嘉将来 先生(西富岡小) | 自然災害とともに生きる～地域ごとに見える日本の減災～ |
| | 北沢 宏 先生(鶴見小) | 情報を生かして発展するネット通販～ビッグデータを活用するネット通販A社～ |
| 【6年】 | 益満順也 先生(三ツ沢小) | わたしたちのくらしを支える政治～わたしたちの願いと市民病院～ |
| | 細水大輝 先生(稲荷台小) | 大陸から学んだ国づくり～心をついに!聖武天皇と行基の一大プロジェクト～ |
| | 田中敏嗣 先生(平沼小) | 全国統一への動き～信長が目指した全国統一～ |
| | 高橋惇平 先生(北方小) | 明治の新しい国づくり～港町としての横浜のはじまり～ |
| | 呉屋雄紀 先生(師岡小) | 平和な未来を目指して～横浜の空襲と戦後の復興～ |

(3) 県小学校教育研究会社会科研究部会 夏季研修会 (令和3年7月30日)

<学年別研修会> フォーラム南太田

3年: 西尾萌子 先生 (西前小) 「わたしたちのまち調べ隊! ~西前のまちから横浜市へ~」

5年: 加藤 拓 先生 (蒔田小) 「米づくりの盛んな地域~地域で米づくりに取り組むWさんとR社~」

6年: 田澤哲哉 先生 (西が岡小) 「国づくりへの歩み ~弥生台から見る“くに”の始まり~」

<特別講演会> 吉野町市民プラザ

演題: 「学習指導要領にもとづいた授業づくりと学習評価」

講師: 文部科学省初等中等教育局 教育課程課教科調査官 小倉 勝登 先生

(4) 第二次教育研究大会〔社会科研究発表大会〕(令和4年1月12日) 吉野町市民プラザ

講師: 横浜市教育委員会 南部学校教育事務所 主任指導主事 赤羽 博明 先生

討議司会: 横浜市立富岡小学校 副校長 藤田 敏明 先生

【研究発表1】 神奈川区 羽沢小学校 渡邊 慶一 先生

テーマ: 「社会科学習における個別最適な学びの在り方について一考察

子どもが情報を整理・理解し。表現できる力の育成を目指したICT 活用~」

単元名: 「地域で受けつがれてきたもの」(4年生)

【研究発表2】 磯子区 杉田小学校 宮崎 智明 先生

テーマ: 「資料を活用することで、子どもの問いが生まれていく社会科学習

ータイムマシーン3組号に乗って、昔の土地や建物、交通を調査しよう!!

~「多くの市民が利用していたのに、なぜ、市電はなくなったのだろうか。」を通して~

単元名: 「横浜市の移り変わり」(3年生)

【研究発表3】 泉区 東中田小学校 原口紘太郎 先生

テーマ: 「多角的なもの見方・考え方の育成を目指し、「でも」でつなぐ社会科学習

~鮭(サーモン)から考える日本の水産業の未来~」

単元名: 「鮭とサーモンから考える日本の水産業」(5年生)

(5) 広報

①会報: 研究の経過や成果をまとめ、研究の継続・発展を図るために、会報を編集・発行する。

②ホームページ: アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/es-syakai/index.htm>

(6) 研究集録

各学年で取り組んだ授業実践を研修会主題及び主題に迫るための視点から分析するとともに、社会科学授業の具体例を掲載し、研究の深化・発展を目指す。

5 研究の成果と課題

子どもたちが主体的に学習に向かい、調べたり話し合ったりしながら追究する問題解決的な学習を積み重ね、未来に生かそうとする意欲をもてるよう、研究主題を設定して研究を進めてきた。整理された成果と課題を、次年度の研究につなげていきたい。

感染症対策を講じた上で、できるだけ集合形式にて実施してきた。授業研究会では参加上限人数を設けて市内8会場で実施でき、参加者が具体的な子どもたちの姿や言葉にふれながら、協議を進めることができた。コロナ禍において例年通りの見学・出前授業等が難しい状況下ではあるが、遠隔地と教室をつないだり情報をやりとりしたりできるICTを活用した授業づくりにも取り組んでいきたい。